

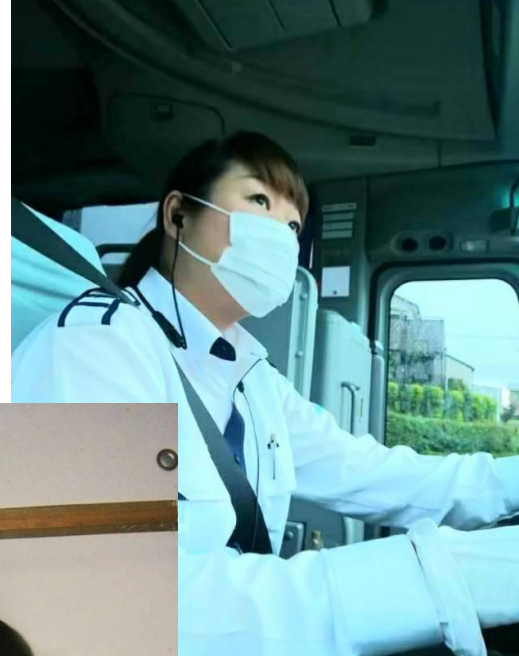
# アフターコロナの新ビジネス

ハラショー観光 田嶋恵利子

## ◆自己紹介

・18歳からバスガイドを3年間勤めたあと、大型バスの運転手をしていた父の背中を追って大型バス運転手に！日本初のバスガイド兼大型バス運転士の誕生でした。

・25歳で結婚、出産しましたが、28歳で離婚。。シングルマザーとして、娘をバスに乗せながら運転する日々が続きました。



## ◆新人研修での思い出

・バスの運転士として日々追われ、笑顔が少なくなっていたとき、娘から「お母さんが笑わないと私もさみしい」と言われ、「笑顔が大事！」と言うことを思い直しました。

・笑顔で思い出したのが、新人研修で慰問した介護施設。九州の民謡を歌うと、高齢者が笑顔で若かりし日の思い出を話してくれました！

施設に居ても、家から出られなくても、旅行気分を味わえる！



## ◆「居ながら観光バス」事業

- ・介護施設等に出張し、太宰府天満宮等の観光地へ向かう道のりを動画で流す。
- ・スクリーンの横で、バスガイド(田嶋)が映像を見ながら案内。
- ・山が見えれば四季の話をし、海が見えれば童謡「うみ」を一緒に歌う。
- ・天満宮では手水で手を清め、参拝する様子も実際の映像として流します。



## ◆「居ながら観光バス」実際の映像



## ◆「居ながら観光バス」の効果

- ・一緒に参加してもらったご家族にお年寄り自身の若かったころの思い出話をする事で、コミュニケーションが計れる。
- ・脳より若返りに良いとされる「エストロゲン」が排出され、痴呆を治すことはできないが、足踏みさせることはできる。
- ・春先や秋口にはデイサービスなどの施設も観光へ出かけるが、この「居ながら観光バス」は真夏や冬の寒い時期にも開催することができる。
- ・寒い時期のバスガイドは閑散期とあって、クラブガイドの雇用促進にも繋がる。
- ・VRにはないリアルなバスツアー体験を！

**目の前の人を笑顔に！！**



**ご清聴ありがとうございました。**